

2021.Oct.

みんなで作る、未来へつなぐ。あふれる笑顔、びらとり。

No.708



広報びらとり

10

Biratori Town Public Relations Magazine



10月3日(日)、日高西部消防組合平取消防署の「総合訓練」が、庁舎と敷地内を利用して実施されました。

訓練の内容は、平取消防署管轄内で火災・救助・救急事案が発生したことを想定したもので、消防組織法第6条に規定される市町村消防責任の原則に基づいて、災害が発生した場合の現場指揮活動や人命救助活動、消火、そして救命活動を最大限発揮して組合内の連携、危機管理体制、対応能力の構築・強化を図ることを目的として行われました。

訓練の開始にあたっては、査閲者である遠藤町長(日高西部消防組合副管理者)や来賓として招かれた平取町議会の千葉議長、松澤副議長、各議員、佐藤副町長、庄野教育長、平取消防団正副団長が立会うなか消防訓練礼式の基準に基づいて緊張感漂う開始式及び通常点検が行われました。また、訓練に先立って庁舎横に展示された「災害用エアテント」やテント内に設置された資器材、ダンボールベットについて、消防署員や役場まちづくり課の防災係から「避難所としての機能が一層高まる」などの詳細な説明がありました。



訓練は「急傾斜地救出訓練」を救助隊(平取1号車隊)とドローン隊(平取指令車隊)が、土砂埋没救出訓練(富川指令車隊)が、火災救助訓練(平取1号車隊)、指揮隊(平取指令車隊)、救急隊(平取救急2号車隊)がそれぞれ受け持ち、順次具体的に説明をしながら実施されました。

火災救出訓練



【訓練概要】
木造2階建て一般住宅から出火し、2階に1名の逃げ遅れがいた模様。消火活動及び応急梯子救出法にて救助者1名を救出する。救出後、容態の悪い傷病者1名は救急隊による高度救命処置を実施する。また、円滑な報道対応について訓練を実施する。



土砂埋没救出訓練

【訓練概要】
震度6の地震が発生。局所的な土砂崩れにより、軽乗用車が土砂に埋没したとの情報。車内に取り残された救助者1名を救出する。2次災害(更なる土砂崩れ)に配慮しつつ、一刻を争う要救助者の検索及び救助方法について訓練を実施する。



資機材・消防車両説明



急傾斜地救出訓練

【訓練概要】
山菜取りの行楽中、男性1名の行方不明者が発生。関係機関と調整し、消防は滑落事故の想定される森林内の傾斜地を重点的に捜索。編成隊は地上から救助隊、空撮によるドローン隊の2隊により捜索と救助活動を実施する。本訓練は視認性の悪い場所での空撮による捜索の有効性の確認と、消防車両が近づけない足場の悪い急傾斜地における救助方法として、ロープによる倍力システムを設定し、安全かつ確実な活動の実践を目的とする。



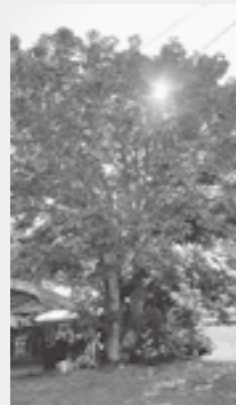
地域おこし協力隊（農業支援員） 登口真理の活動日誌



【10月】

5日(火) 糸屋農園（岩知志）のハウスで数日前から、ほうれん草の間引きをしています。年が明けたら、一斉に収穫します。

そして、親戚の家（振内町）にある栃の木です。栃の実はアクがかなり強いので、しっかりした処理をしないと食べられません、ホクホクで美味しいらしいです。主に山形県で食べられているようです。



新たに牛尾拓示さんが着任



10月1日（金）、地域おこし協力隊として新たに着任した牛尾拓示さんの任命式が役場庁舎内で行われ、遠藤町長から委嘱状が手渡されました。牛尾さんは今後、糸屋農園（野菜）からのサポートを受けながら就農をめざします。

当日は、平取町役場、びらとり農業協同組合を訪問後、さっそく赤石ご夫妻にもごあいさつに伺い、そのまま作業着に着替えて新たな任務をスタートさせましたようです。



【牛尾拓示さんからの挨拶】
私は兵庫県姫路市に生まれ、大学時代には1年間休学して高知県でニラを栽培し、その際農業の魅力に惹かれ「将来的に必ず百姓になりたい」と考えておりました。

約5年間、不動産売買営業として高知県・香川県・東京都を経て退職し、富良野・山形県で責任者としてメロンの栽培に従事してまいりました。

DIY・サウナ・ゴルフが好きで、平取町では沢山の人が出会う一人でも多くの方と交流できることを楽しみにしております！よろしくお願いたします。

あなたの出会いをサポートします！
地域結婚支援事業連携協定



平取町では、結婚を希望する方の出会いやきっかけづくりをサポートし、町内の結婚機運を高めることを目的に、苫小牧信用金庫と「地域結婚支援事業の連携に関する協定」を締結しました。

苫小牧信用金庫が運営する「LLB会結婚相談所」では、入会された会員同士のお見合いによる婚活事業に取り組み、この結婚までに60組以上が婚約または結婚に至っています。

「結婚したいけど出会いがない」「出会いのきっかけが欲しいけど、素性がわからない相手は避けたい」「興味はあるけど、婚活イベントのようなものはちょっと…」など。そんなあなたもLLB会結婚相談所に入会し、まずは出会い探しから始めてみませんか？

平取町の役割

- 結婚を希望する独身男女に対し、出会いを創出する事業の理解と参加を促進する
- 各事業所に対し、事業への理解と参加促進をする
- 苫小牧信用金庫が運営する「LLB会結婚相談所」会員登録のための広報活動を行う

苫小牧信用金庫の役割

- 地域のLLB会登録促進に共同で取り組む
- 各事業所に対し、事業への理解とLLB会登録を共同で取り組む
- LLB会登録窓口を強化し、登録者を拡大する
- 登録者に対するお見合いなどを促進するとともに、婚活パーティー等を通じて出会いを創出する

LLB会とは？

苫小牧信用金庫が運営する結婚相談所で、次の資格を満たす方であれば、どなたでも入会できます。(LLB⇒Love Love Bridal)

【会員資格】

- ①苫小牧信用金庫の営業地域にお住まいの方
- ②法的にも実生活上においても独身の方
- ③結婚したいという明確な意思のある方
- ④反社会勢力に属していないこと

【入会預り金】
10,000円（退会時に全額返金されます）

【活動実績】※令和3年9月30日現在

- ・会員数 男性331名 女性345名
- ・お見合い件数 724件
- ・婚約/結婚数 60組

【その他】

- ・専任のスタッフがいますので安心です！
- ・女性も会員登録できます！

①LLB会に入会・会員登録
入会・会員登録の手続きは直接とましんLLB会へ

②LLB会が異性を紹介
とましんLLB会があなたの希望にあった異性を紹介

③1対1によるお見合い
マッチングするまで何回でも紹介・お見合いが可能

**運命の赤い糸を
見つけましょう!!**

平取町観光商工課商工労働係 電話 01457-3-7703（直通）
苫小牧信用金庫LLB会事務局 電話 0144-56-5026

9月28日(火)、地域の歴史を未来に活かすイザベラ・バードが残した記録からというテーマのもと、今年度第2回目のシシリムカ文化大学講座が、ふれあいセンターびらとりで開催されました。

講師には京都大学名誉教授でイザベラ・バード研究の第一人者である金坂清則氏を招き、「ペンリウクのチセの解明と再生の意義」をテーマに講演が行われました。



要のコタン、ピラトリの核を地域づくりに生かす」という講義題でお話をいただきました。

特に自身の研究成果から①女性旅行家イザベラ・バードの旅と旅行記の価値と真実を知るための「旅と旅行記を科学する」という視点の重要性

②1878(明治11年)年の日本の旅、とりわけ平取への旅と滞在なくしては語れない稀代の旅行家バード

③欧米人接触の最重要人物ペンリウクと、枢要のコタン、ピラトリの核としてのそのチセに関する研究成果

④文化的景観を未来に生かす地域づくりに向けた視点

などを詳しく話され、会場とオンラインでの受講生を合わせ約100名の方が熱心に拝聴していただきました。また、講座終了後も金坂氏が講座のために準備いただいた「世界巡回写真展」の概要を紹介するパネルの展示コーナーが設けられ、その場で熱心に質問される姿も見受けられました。

講演会「世界からびらとりへ」

「くまさん荘」を経営する熊谷厚子さん(豊糠)の講演会が、9月30日(木)に平取高校で開催されました。

熊谷厚子さんはこれまで長い間、世界各国を回り、暮らし、多様な文化に触れ、そして最後には再び地元に戻って来られた方です。

・なぜ、地元に戻ってきたのか？

・「くまさん荘」を始めたのか？

・自分自身の経験から語る「国際人」とは？

そんな話を高校生だけではなく、一般の方にも聞いていただきたく、北海道平取高校が主催、平取高等学校運営協議会、平取町教育委員会、平取町地域学校協働本部の協力を得て、一般の方々にも広く周知した形で講演会が開催されました。

熊谷さん自身が海外で暮らし始めたころは、「頭の良い人が田舎を出て、都会で暮らしたがる。田舎には頭の悪い人が残る」というイメージを抱いたそうですが、父親から「豊糠にいたってどこにでも行けるし、何でもできる」と言われた一言で、その間違いに気づいた

たそうです。また、アメリカのネイティブの人「アイヌ」について知ってか？」と聞かれて、北海道のことも平取のことも答えられなかったことが地元に戻るときかけの一つになったようです。

「国際人」とは？というセッションでは、会場高校生から、「コミュニケーション能力」「積極的な表現力」というイメージがあり、その回答を補充するよう熊谷さんからは「国際人とはグローバル視点を持つって物事を考えられる人」のことであり、そうなるためにはホスピタリティが重要であり、そうした気持ちを持ってつたためには幅広いビュー(広い視野、幅広い見地)が重要であることとを経験に基づいた、非常に説得力のあるお話を聞くことができました。

さらには英語を話せたら、友達を作りたい「外国人に会ったらしっかり話したい」という発言に対して、「聞き役はこの国に行っても求められる」

「コンプレックスを個性と捉えていき、人と比べるのではなく自分の成長を認めながら生きる」というお話を聞きました。

「日常会話を取っ替え履きの英語を話すことが大事」というお話を聞きました。

「コンプレックスを個性と捉えていき、人と比べるのではなく自分の成長を認めながら生きる」というお話を聞きました。

「日常会話を取っ替え履きの英語を話すことが大事」というお話を聞きました。



Gloval citizen
地球規模の視点を持ち、物事を考えられる人

Hospitality
おもてなし、思いやり、寄り添い

Wide view
広い視野、幅広い見地(多様性を知る)

Gloval citizen へのステップ

- ・コンプレックスを個性と捉えていき
- ・人と比べるのではない自分の成長を認めながら生きる
- ・違いではなく共通点を探しながら人に接する
- ・自分の機嫌は自分でとる(趣味、学び、新たな挑戦)
- ・キャッチャー役の技術を磨き、器の大きい人を目指す
- ・話す英語をくらしの中に組み込む(読み書き文法後付け)

「振内町民ラジオ体操100日大会」 100日達成!

今年で37回目となる「振内町民ラジオ体操100日大会」が6月23日(水)からスタートし、9月30日(木)で100日達成となりました!

ラジオ体操に参加された皆さま、おめでとうございます。

100日間でラジオ体操に参加された延べ人数は、3,493名となりました。来年もぜひ第38回目の振内町民ラジオ体操100日大会を実施されますことを祈念します。



10/1

沙流川歴史館・二風谷アイヌ文化博物館 特別展

「びらとりの学校」が、町立二風谷アイヌ文化博物館特別展「ジョン・パチエラーの足跡」と、伝道活動とアイヌ文化研究「がそれぞれの施設で10月1日（金）から始まりました。

沙流川歴史館の特別展では、子ども（在校生）や町民（卒業生）にとつて身近な町内の学校をテーマに、既に統合・廃校となつた学び舎の移り変わりを紹介して記録や映像を通じて紹介してくれています。また、23日（土）には、元平取中学校教諭の坂本年光氏（石狩市立紅南小学校エクスパートサポーター）をお招きし、「学校教育の移り変わり」と人を育てる平取町の風土」と題して講座が開催される予定です。

一方の二風谷アイヌ文化博物館の特別展は、明治期のジョン・パチエラーによる平取を中心とした北海道西部でのキリスト教の伝道活動とアイヌ文化研究をパネルや映像資料で紹介しています。11月28日（日）までが会期。



二風谷アイヌ文化博物館特別展の関連講座が10月10日（日）、沙流川歴史館レクチャールームで開催されました。講師はこれまで何度か英国や平取町に調査のため訪れていて、現在は早稲田大学文学部院非常勤講師を招き、「英国の史料から読み解くパチエラーの足跡」と題してお話しいただきました。具体的には、英国に残されたジョン・パチエラーの資料を中心に、生い立ちから来日までの経緯、アイヌ語学習、道内での伝道活動を中心にお話しいただき、これまで注目されていなかった英国聖公会宣教師協会（CMS）宣教師デニングの1876年の平取訪問についても詳しく取り上げられました。

当日は特別展と田辺氏の講座に参加するため町内外から教会関係者や研究者、パチエラーに関心をもち大勢の参加者がありました。とりわけパチエラーや平取とともに関りが深いミス・ブライアンと交流をされていたという資料も公開されました。



10/10

二風谷アイヌ文化博物館講座 「英国の史料から読み解くパチエラーの足跡」

10/1

平取町における高齢者等の地域見守り活動に関する協定



10月1日（金）、町はびらとり農業協同組合（仲山浩組合）と高齢者等が安心した生活継続するため、地域の見守り活動に関する協定を締結しました。

協力内容は、日常の業務において高齢者に異変等を発見した場合や町から捜索協力を依頼を受けた場合、平取町地域包括支援センター（電話番号01457・2・3700）へ連絡。ただし、急病等で現場に倒れている人を見つけた場合や事件性が認められるような事態を発見した場合には、速やかに警察署や消防署に通報するというものです。

同様の協定は既に、コープさつぽろ、平取商工会、びらとり郵便局、公誠企業、道南バスなどの5事業所と締結しており、びらとり農業協同組合で6件目。

車いすを寄贈



（株）小林組（荷葉 小林史明社長）は1日（金）、同社の労働衛生大会を開催したふれあいセンターを催した一環として、社会貢献活動の一環として、平取町社会福祉協議会（高修副会長）と平取福祉会（山岸俊紀理事長）に対し、車いすをそれぞれ1台ずつ寄贈しました。

同社はこれまで継続してリングブルの回収し、益金で車いすを購入し、社会福祉協議会へは今回で4台目の寄贈となりました。

10/2

アシリチェプノミ



新しい鮭を迎える儀式「アシリチェプノミ」が10月2日（土）に町二風谷のオサツ沢で行われました。

この事業は、平成20年度より平取町地域イオル再生事業（アイヌの伝統的生活空間の再生）のうち、一般の方々にも広くアイヌ文化を知っていただくことを目的に伝統儀式を復活させてきたものです。

復活させるにあたっては、地元の古老から聞き取り調査や沙流地方に残る文献などを参考に再現しており、カムイチェプ（サケ）が遡上してきたことをカムイ（神）に感謝し、豊漁を願って祈りをささげるアイヌの精神文化や伝統的な漁具、漁法を後世に伝承できる場として毎年継続して行われていきます。



当日も町内外からの多くの参加があり、伝統的な漁具の使い方や、鮭の捕獲にチャレンジする姿が見受けられました。

教育委員会からのお知らせ

平取町コミュニティ・スクールレター 地域と学校、びらとりのみらい



平取小学校

～2年生 馬をよく知り絵を描きます～

2年生が荷葉の赤石牧場にお邪魔しました。図工の学習で「馬の絵」を描くので、馬を実際に見て学ぶことが目的でした。本校の保護者でもある赤石さんと従業員の方が、丁寧に馬のことを教えてくださいました。馬の大きさや顔、体の色や性格まで、一頭一頭違うことを教わりました。馬の体の特徴について知ると、馬の子どもたちは、「へー」「そうなんだ」と感嘆の声をもらし、目を輝かせて観察していました。この観察が功を奏し、馬の姿をスケッチする際には、馬の特徴をしっかりと捉え、絵に表すことができました。最後に、大切な馬たちをじっくり見させていただき、愛情深く教えてくださった赤石牧場の方々感謝の気持ちを伝え、帰路につきました。



振内小学校

～安全マップの取組～ 地域の方とともに育む危険予知能力



振内小学校では、長年にわたり年々2回ずつ縦割り班活動による安全マップの取組と集団下校指導を行ってきました。今年度は、学校運営協議会で話し合い教職員からも要望のあった「子どもたちが気づかない危険箇所を地域の方に教えていただくこと」「子どもたちが危険と感じていることを地域の方にも共有していただくこと」を目的として安全マップの見直しの時間に地域の方に参加してもらい、子どもたちが意見を出し合ったあと、危険を感じている個所の説明をしていただきました。歩道がなく車の往来がある箇所や両脇には側溝もあり、子ども達が登下校中に事故に巻き込まないか、間違えて側溝に落ちたりしないか、地域の方々が心配してくれていること、安全に通行するために必要なことを学ぶ機会となりました。

びらとりDAY 給食



10月5日(火)、町内の小中学校で「びらとりDAY」給食が提供されました。メニューは、JAびらとりからご寄付いただいた平取産のじゃがいも、カボチャ、きゅうり、トマトに平取産米と和牛ハンバーグを使った、びらとり和牛のハンバーグカレーとびらとり野菜のサラダ、牛乳です。地元の食材で作ったおいしい給食に、子どもたちは農家の皆さんに感謝しながら喜んで食べていました。

小学校3・4年生 社会科見学学習



9月1日(水)・8日(水)、町内の5つの小学校が合同で社会科見学学習を実施しました。3年生は、日高西部消防組合平取消防署とトマト農家、4年生は平取町外2町衛生組合と開拓財産展示施設を見学しました。例年は1日日程で、トマト選果場やふれあいセンターびらとりも見学していましたが、昨年度から新型コロナウイルス対策のため、半日日程となりました。学習のねらいは、「子どもたちの社会的視野を広げるため、町内の産業や公共施設の見学・体験活動を通して、働く人の姿を見つめ、施設の機能や役割を理解し、地域との関わりを学習する」というものです。事前の学習を基に、真剣なまなざしで見学し、質問したりメモを取るなど集中して取り組んでいました。開拓財産展示施設では、「蓄音機にびっくりした。今はポタで回したりと準備が大変だったんだな」という感想が聞かれました。



開拓財産展示施設



平取町外2町衛生組合



トマト農家



日高西部消防組合平取消防署

平取町英語暗唱大会

～平取町教育活動実行委員会主催～



昨年度はコロナ禍のため中止となった「英語暗唱大会」が、10月6日(水)に振内中学校で開催されました。二校の中学校から各学年2名ずつ、計12名の代表が、それぞれの学年の課題文章を暗唱しました。緊張しながらも一語一語しっかりと発音し、表現豊かに発表する

ことができました。審査委員長である平取高校の菊池教諭から、「年々発表に差がなくなってきています。次のステージでは、自分をどう表現するのかを考えて学習してください」と励ましの言葉がありました。聞く生徒の姿もとても素晴らしく、有意義な英語暗唱大会となりました。

〈審査結果〉	1年生	2年生	3年生
最優秀賞	川端いづみ(平取)	金谷 美玖(平取)	比嘉 湖子(振内)
優秀賞	三好 凜香(振内)	福澤 夢子(振内)	山口陽菜乃(平取)
優秀賞	富田 凜(振内)	高橋菜乃葉(振内)	藤江悠太郎(振内)
優秀賞	神 碧(平取)	日高 琴歩(平取)	稲原 稟子(平取)

図書館へいこう

○開館時間 火～金曜日 9:30～18:00
土・日曜日 9:30～17:00

○休館日 月曜日・祝日
※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館



新着図書

【小説・エッセイ】

『民王 シベリアの陰謀』
／池井戸潤
『旅のない』／上田岳弘
『かぞえきれない星の、その次の星』
／重松清
『アルテミスの涙』／下村敦史
『母親からの小包はなぜこんなにダサイのか』／原田ひ香
『子のない夫婦とネコ』／群ようこ
『作家は時代の神経である』
／高村薫
『本が紡いだ五つの奇跡』
／森沢明夫

【児童書】

『もうひとつのアンデルセン童話』
／斉藤洋
『すてきなタータンチェック』
／奥田実紀
『まちのナニコレ? 図鑑』
／小学館
『世界じゅうの女の子のための日』
／ジェンカ・ハンフリーズ

【医学・社会・その他】

『希望の一滴』／中村哲
『差別はたいいてい悪意のない人がする』／キム・ジヘ
『神社語辞典』／本村のり子
『病院・医療のしくみ』／木村憲洋
『おうちストレスをためない習慣』
／杉岡充爾
『重要証人 ウイグルの強制収容所を逃れて』／サイラグル・サウトバイ
『老後の年表』／横手彰太
『イチから基礎がよくわかる手ぬいの基本レッスン』／高橋恵美子

【絵本】

『あたまにかきのき』
／いもとようこ
『おかあさんごめんなさい』
／みやにしたつや
『おばけくんのハロウィン』
／新井洋行
『チリとチリリよのおはなし』
／どいかや
『きょうものはらで』／エズラ・ジャック・キーツ

※ 図書ワゴン運行予定 ※

11月4日(木)
【振内地区】10:00～12:00 山の駅ほろしり館
【貫気別地区】14:00～16:00 貫気別生活館
■ 貸出期間は次回の巡回日までになります。
■ 毎月第一木曜日に運行します。

図書館カレンダー

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

■ は休館日です

おすすめ紹介



『あんなにあんなに』
／ヨシタケシンスケ
(ポプラ社)

この絵本は、母親が成長していく息子の姿を見ながら様々な場面で「あんなに〇〇だったのに」「あんなに△△してたのに」とつぶやくだけ。でも子育て真っ最中の方は「そうだよ」と同感でき、子どもが手を離れた方は「そうだったよ」と懐かしく振り返ることができるような絵本です。いわゆる“こども向け絵本”というだけではない、“大人に読んでほしい”一冊です。

オンライン予約ができます！

下のQRコードを読み込んでください。ログインパスワードは図書館のカウンターで発行しています。

【お問い合わせ】 平取町立図書館

電話 01457-4-6666
FAX 01457-4-6871
メール risu2@guitar.ocn.ne.jp



すこやかだより

保健福祉課からの
お知らせ

がんは、早期発見・早期治療が大切です!!

みなさんは、乳がん・子宮がんの罹患率をご存じですか？

女性のがん罹患率 第1位！ 乳がん

生涯に乳がんを患う女性は、11人に1人と言われています。乳がんは他のがんと比べて、比較的若い年齢で発症することが多いがんです。30歳代後半から増加し、40歳代でピークを迎えて、その後もそれほど減ることはありません。稀に男性が乳がんになることもあります。乳がんは他のがんに比べて、比較的緩やかに進行するがんではありますが、全身へがん細胞が広がりやすいため、早期発見には検診が重要です。早期に発見し治療を行えば、手術で9割は治り、乳房を残すことも可能です。

女性のがん罹患率 第5位！ 子宮がん

子宮がんは、「子宮体がん」と「子宮頸がん」に分類されます。



年齢を重ねても注意が必要な「子宮体がん」は子宮体がんの約80%以上はエストロゲンという女性ホルモンが過剰に分泌されることが原因です。40歳代後半から増加し、50～60歳代にかけて発症のピークを迎えます。その後罹患率は減少していきますが、死亡率は年齢が上がるにつれて高くなり、年齢を重ねることに注意が必要な疾患です。子宮体がんは症状が進行していない早期の段階で不正出血を起こすことが多く、月経ではない期間や閉経後に出血がある場合は、早期に受診することが、大

若い人も注意が必要な「子宮頸がん」

子宮頸がんは子宮体がんとは原因が全く異なり、ヒトパピローマウイルスというウイルスが原因となります。罹患率は、20歳代後半から増え40歳代がピークになります。若い女性に目立つがんです。子宮頸がんは、初期症状がほとんどなく、自分で気づきにくい病気です。がん細胞の増殖はゆっくりで、正常な細胞ががんになるのに5～10年以上かかるといわれています。そのため、定期的に検診を受ければ、がんになる前の段階で見つけることが可能です。



検診を受け
ましょう！

乳がん、子宮がん、いずれのがんも早期発見、早期治療が大切です。自覚症状がないまま進行することもあるため、定期的に検診を受診しましょう。



乳がん・子宮がん・大腸がん健診のお知らせ

【日付】12月3日(金)
【場所】ふれあいセンターびらとり
【対象者】
乳がん 40歳以上の女性
子宮がん 20歳以上の女性
大腸がん 40歳以上の町民
お申込み・お問合せ
保健福祉課 保健推進係
(ふれあいセンターびらとり)
☎4・6112
※ 苫小牧と札幌の指定病院に個別受診する方法もあります。



二柏の丘

撮影：船越光次氏（二風谷）

- 平取町役場 総務課（代表） ☎ 2-2221
- まちづくり課 ☎ 2-2222
- アイヌ施策推進課 ☎ 2-2341
- 観光商工課 ☎ 3-7703
- 産業課 ☎ 2-2223
- 農業委員会・土地改良区 ☎ 2-2695
- 税務課 ☎ 2-2224
- 出納室 ☎ 2-2225
- 建設水道課 ☎ 2-2226
- 議会事務局 ☎ 2-2227
- ふれあいセンターびらとり ☎ 4-6111
- 町民課 ☎ 4-6113
- 保健福祉課 保健推進係・福祉係 ☎ 4-6112
- 介護支援係・介護保険係 ☎ 4-6114
- 児童館 ☎ 2-3026
- 子ども発達支援センター ☎ 2-3400
- 地域包括支援センター「ほほえみ」 ☎ 2-3700

- 平取町教育委員会 生涯学習課 ☎ 2-2619
- 中央公民館 ☎ 2-2619
- 町民体育館 ☎ 2-2749
- 二風谷アイヌ文化博物館 ☎ 2-2892
- 沙流川歴史館 ☎ 2-4085
- 図書館 ☎ 4-6666
- 役場振内支所 ☎ 3-3211
- 役場貫気別支所 ☎ 5-5204
- 平取町国民健康保険病院 ☎ 2-2201
- 平取町社会福祉協議会 ☎ 4-2267
- 平取町外 2 町衛生施設組合 ☎ 2-2024
- 平取消防署 ☎ 2-2361

すずらん短歌会詠草

さわやかに秋の気配のおとずれて
青空にこの葉小さきぎみに揺れ
中 沢 三子

毎日を草取り片付けゆきて
自分で出来る動ける喜び
相 田 のぶ子

コロナ病帽子とマスクで顔みえず
わからんままで挨拶かわさん
中 原 千鶴子

案じいた遅れとりしの水田は
みごとなるほど小金色なり
石 川 原 多満代

着地なきコロナに喘ぐ地球号
闇を照らせよ北斗七星
熊 谷 厚子

「すずらん短歌会」入会者募集！ 希望者は、中央公民館生涯学習課社会教育係へ



まちの人口と世帯数

		(前月比)
人 口	4,693 人	(- 10 人)
男	2,296 人	(- 6 人)
女	2,397 人	(- 4 人)
世帯数	2,444 世帯	(- 4 世帯)

※9月末現在の住民基本台帳による



ホームページ QR コード